

岸和田だんどり祭

9月14・15日、10月12・13日

世界にいちばん近い城下町の喧嘩祭り

江戸時代中期に、時の岸和田藩主岡部長泰公が、五穀豊穡を祈願して行った稲荷祭が始まりといわれている。「だんどり」とは山車を意味する西日本の方言のこと。その奇麗な彫刻と、スピードを緩めることなく勢いよく曳行コースの交差点を曲がる大迫力の「やりまし」が魅力。9月と10月の2回に分けて行われる。

※ 岸和田は関西国際空港から約15kmの距離にあるため、世界にいちばん近い城下町の喧嘩祭りといわれる。

